

# 令和元年度 文部科学白書（概要）

## 全体構成

巻頭 大学入試改革の現状について  
新型コロナウイルス感染症に関する対応について

### 第1部

特集1 教育の情報化～GIGAスクール構想の実現に向けて～  
特集2 ラグビーワールドカップ2019日本大会の軌跡とレガシー

### 第2部 文教・科学技術施策の動向と展開（年次報告）

## 特集1 教育の情報化～GIGAスクール構想の実現に向けて～

特集1では、「GIGAスクール構想」について、その基盤となる学校ICT環境整備にフォーカスし、これまでの状況、令和元年度補正予算成立に向けた動向やその概要、また新型コロナウイルス感染症を受けた令和2年度補正予算事業の概要、今後の展望について紹介しています。

また、本特集内のコラムでは、ICT活用を先進的に行っている自治体の事例として、茨城県つくば市教育委員会、大阪府箕面市教育委員会における取組について紹介しています。

（コラム）ICT活用が盛んな自治体の先進事例  
ICT活用フォーラムでの萩生田大臣視察  
（つくば市教育委員会）

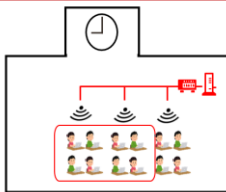


### GIGAスクール構想の実現

令和元年度補正予算額 2,318億円

- 令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務。
- 1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備などを通じ、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

（1）校内通信ネットワークの整備  
希望する全ての小・中・特支・高等学校等における校内LANを整備  
加えて、小・中・特支等に電源キャビネットを整備



（2）児童生徒1人1台端末の整備  
国公立の小・中・特支等の児童生徒が使用するPC端末を整備

学習者用コンピュータ  
（3クラス1クラス分は地方財政措置の対象）

### GIGAスクール構想の加速による学びの保障

令和2年度補正予算額 2,292億円

目的 「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現

#### 児童生徒の端末整備支援

- 「1人1台端末」の早期実現 1,951億円
- 障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備 11億円

学校ネットワーク環境の全校整備 71億円

GIGAスクールサポーターの配置 105億円

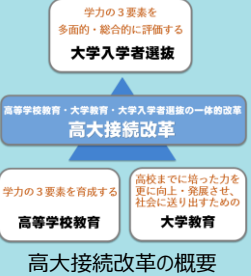
#### 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備

- 家庭学習のための通信機器整備支援 147億円
- 学校からの遠隔学習機能の強化 6億円

○ 「学びの保障」オンライン学習システムの導入 1億円

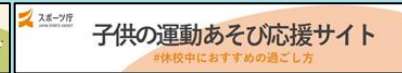
## 大学入試改革の現状について

大学入学者選抜における英語4技能評価や記述式問題のあり方や、経済的な状況や居住地、障害の有無等に関わらず、安心して試験を受けられる配慮などに係る「大学入試のあり方に関する検討会議」の審議状況等、昨今の大学入試を取り巻く現状について紹介しています。



## 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

新型コロナウイルス感染症に関する文部科学省の対応として、全国一斉の学校の臨時休業の要請等の経緯や本感染症の研究開発、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の延期、スポーツ・文化イベントの中止・延期等の状況を紹介します。



## 特集2 ラグビーワールドカップ2019日本大会の軌跡とレガシー

特集2では、日本全国12会場で開催されたラグビーワールドカップ2019日本大会について、アジア初のベスト8進出を果たした日本代表の活躍を振り返るとともに、大会の概要や結果、文部科学省としての機運醸成の取組や地方自治体の取組、大会のレガシーとして今後進めていくラグビー普及に向けた取組等を紹介します。



秋篠宮皇嗣殿下による開会宣言



日本代表  
田中史朗選手



子ども震が関デー 記念式典



閉会式の様子